



# 年末年始は無災害で、良い新年を迎えましょう



令和5年に須賀川労働基準監督署管内で発生した休業4日以上労働災害は、10月末日現在で100件と、前年同期の105件とほぼ同数となっています。また、令和5年は既に3件の死亡災害が発生しています。

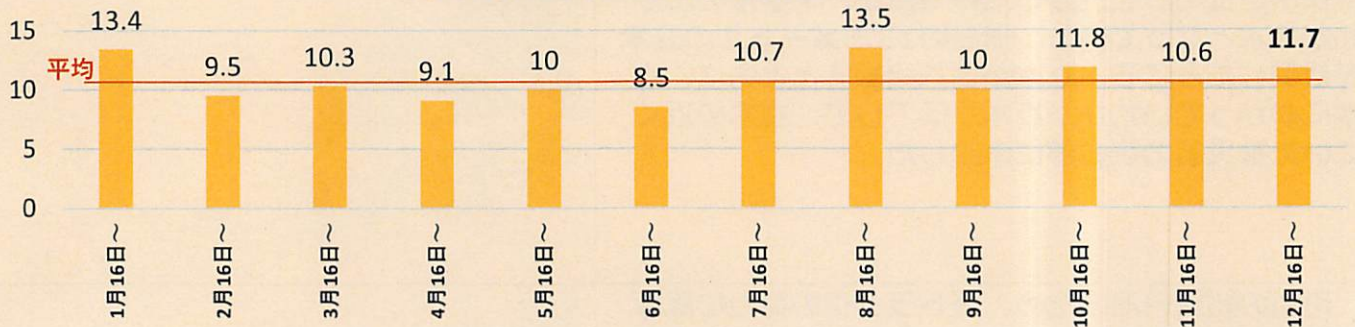
慌ただしくなる年末年始（12月16日～1月15日）は、労働災害が増加する時期です。平成25年以降の10年間、須賀川労働基準監督署管内では、平均してひと月に10.7件の労働災害が発生していますが、年末年始は、一般に営業日数が少ない時期であるにもかかわらず、平均より多い11.7件の労働災害が発生しています。

年末年始は、一斉清掃や設備の点検・整備、再稼働等といった、いつもと違う慣れていない作業を行うため、作業手順の確認等十分な準備が必要です。

また、年末年始は、積雪や路面の凍結による転倒リスクや交通事故のリスクが高まる時期でもあります。

労使協力して「安全第一」で仕事を行い、安全・健康に一年を締めくくり、良い新年のスタートを切りましょう。

月別労働災害発生件数（平成25年～令和4年）



※休業4日以上労働災害に限る（新型コロナウイルス感染症によるものを除く）

## 清掃作業

- ① 脚立を安全に使いましょう！
  - 脚立の最上段に乗らない。
  - 脚立にまたがらない。
  - 滑り止めがついた脚立を使用する。
  - 開き止め金具を確実にロックする。
- ② 整理整頓中のルール
  - 通路に物を仮置きしない。
  - 重たい物を無理して持たない。  
(男性は体重の40%まで、女性は24%までが腰痛防止の目安)

## 機械の点検・整備、再稼働

- 機械の動力源を遮断する。  
(ブレーカーやスイッチのロックアウト)
- 操作盤に「点検・整備中のため操作禁止」等表示する。
- 合図は大きな声で、ハッキリと！
- 作業終了後は、無効化した安全装置や取り外した安全カバー等を元に戻す。
- 作業再開前に安全装置の動作確認をする。

## 冬季転倒災害防止

- 駐車場内や駐車場から職場までの通路を除雪する。
- 事務所入口に転倒防止用マットを敷く。
- 滑りにくい靴や手袋の着用を推奨する。
- ながら歩きや小走りでの移動、ポケットに手を入れて歩くことを禁止する。
- 時間に余裕をもって行動する。
- 屋外では小さめの歩幅で歩く。

## 交通災害防止

- 目的地方面の交通・気象情報を収集する。
- 時間に余裕をもって行動する。
- 「急」のつく運転を避ける。  
(急ハンドル・急ブレーキ・急発進)
- 凍結しやすい場所の手前で減速する。  
(橋の上、日の当たらない道路)
- 下り坂ではエンジンプレーキをかける。

# 令和5年に発生した死亡災害の概要

災害発生状況	概要図
<p>被災者は、事業場敷地内に最大積載量2.9トンの貨物自動車を停車させ、荷台で積荷の確認を行っていた。貨物自動車が停車地の傾斜により逸走（後進）し始めたため、被災者は慌てて荷台から地上へ飛び下り、逸走した当該貨物自動車のタイヤに全身を轢かれた。</p>	
<p>太陽光発電施設建設現場において、作業員3名で立木の伐木作業を行っていた。チェーンソーでの立木伐木と玉切りを担当した作業員が、Y字形の木がかかり木となっている、樹高約13.5メートルの立木を伐倒したところ、立木が倒れ始めるとともに、立木にかかっていたかかり木が落下して、立木の近くにいた被災者の後頭部に激突した。</p>	
<p>町道の維持管理のため、軽トラックの荷台に除草剤を載せ、移動しながら路肩に除草剤の散布を行っていた。被災者は、散布場所の30メートル後方の、見通しの悪い左カーブを曲がり終えた場所に立って交通誘導を行っていたところ、時速70キロメートル程の速度で進行してきた一般交通車両に轢かれた。</p>	

## 年末年始を無災害で終えるためのリーフレット等

清掃作業	<p>脚立の安全な使い方</p>	<p>重量物の取扱い</p>	<p>腰痛予防体操</p>
	転倒災害	<p>転倒防止</p>	<p>冬季転倒防止</p>